

相談室便り

スクールカウンセラー 達富郁夫

〈そのままがいいよ〉

あなたが幸せな気分であれば、もっと大きな幸せがやってくる。ステキなことを考えていれば、人生はもっともっとステキになる。

あなたが自分を大切に、自分のいい友だちであれば、みんながあなたを大切にしてくれる。みんながあなたのステキな友だちになる。

あなたが自分を好きになれば、みんながあなたを好きになる。あなたが自分を大切にしていれば、みんなも、自分を大切にしようかなって思うかもしれない。

そのままのあなたがいい。だれかのまねをすることなんてない。

だれかと同じように笑ったり、話したりしなくたっていい。みんなと同じような格好をしなくたっていい。

あなたはあなた、それでいい。

(パットパルマー著「自分を好きになる本」より)

何が見えるかな？

- さて、今年度最後の問題です。
- 右の絵の中に、とある生き物の名前が隠れています。
- さて、その生き物とは何でしょう？
- わかるかな？



〈前回の解答〉
左のように線を引くと、犬のダルメシアンが隠れてました。
わかったかな？



大人のための子育て講座⑧

『大人の余裕の作り方』について

私自身、学校で子どもたちの授業の様子を見に行くとよく思うことですが、『出来ない！』や『間違えたくない！』といった気持ち、あるいは『間違いを指摘されたくない！』といった気持ちの強い子ほど、落ち着いていないように見えてしまいます。

先生方とお話しする際によく出す話なのですが、例えば学校って、いろいろなものを想像的に創り出す場だと思うのですが、子どもたちには「こうしたらいけない！」とか「〇〇したらダメ！」といった言葉が多く聞かれます。

本来ならば、間違えた時こそ子どもたち自身が、自分の力で気がつくことによって学べるチャンスな訳ですが、大人の方から子どもたちが間違えないようにしてしまい、本当の意味で子どもが学ぶべきチャンスを潰してしまっている…。そんなふうにも見える大人と子どもの関わり方がよくあります。

それがなぜなのかと考えた場合、大人自身に子どもと関わる時間的余裕がなく、子どもと関わる時間を短縮させたいといった気持ちがあるのではないのでしょうか。その結果、大人は子どもが間違えてしまったり、大人の予想通りにいかないことの無いよう、方向性だとか枠組みを決めてしまう…。しかし、実際には子どもが方向性や自主性を見失ってしまい、余計に大人の時間を奪ってしまう…。

こうした悪循環が起きているように見えます。大人自身が余裕を作っていくためには、まずは時間に追われているという概念そのものを見直していく必要があるのではないのでしょうか。時間をかけた結果、逆に時間短縮になることもある。『急がば回れ！』とは本当だなあ…と思います。

3学期の来校予定日

2月 9日(水曜日) 10時15分～17時(吉舎中)

2月16日(水曜日) 10時15分～11時15分(吉舎中)
11時30分～17時15分(吉舎小)

3月 2日(水曜日) 10時15分～17時(吉舎中)(今年度最終日)

相談には予約が必要です。相談のご希望がありましたら、各学校までご連絡の上、予約して頂きますよう、よろしくお願い致します。

(吉舎中学校；0824-43-2115)

(吉舎小学校；0824-43-2580)

(八幡小学校；0824-43-2026)

